

- 問1 九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。 | 2. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。 | 3. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。 | 4. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。 |
|--|---|---|---|
- 問2 宮崎県ではピーマンの生産が、沖縄県ではサトウキビの生産が盛んである。また両県ともにマンゴーの生産が全国的に有名である。これら両県に共通する気候的な特徴を活かした農業の説明として、最も適切なものはどれか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 温暖な気候を活かし、ビニールハウスなどを利用して成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培や、熱帯・亜熱帯の作物の栽培が行われている。 | 2. 大都市に近い立地を活かして、鮮度が重要な野菜を生産し、輸送費を抑えて短時間で消費地へ届ける近郊農業に注力している。 | 3. 高冷地の涼しい気候を活かし、夏から秋にかけてキャベツやレタスなどの高原野菜を栽培し、出荷時期を他の地域とずらしている。 | 4. 冬の積雪が多い気候を活かし、春先の豊富な雪解け水を利用して大規模な稲作を行うとともに、冬の間は出稼ぎや工芸品制作を行っている。 |
|---|--|--|--|
- 問3 九州地方の北部、福岡県から佐賀県にかけて広がる平野について述べたものとして、最も適切な名称を選びなさい。この平野は有明海に面しており、九州地方を代表する大規模な稲作地帯として知られています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 仙台平野 | 2. 筑紫平野 | 3. 宮崎平野 | 4. 熊本平野 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|-------|
| 1. きゅうり | 2. さつまいも | 3. てんさい | 4. ねぎ |
|---------|----------|---------|-------|
- 問5 九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 鹿児島県 | 3. 佐賀県 | 4. 福岡県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問6 1978年から2018年にかけての沖縄県の観光に関する統計資料を分析すると、観光客数と観光収入の双方が著しい成長を見せていることがわかります。この約40年間の変化について、数値の推移から読み取れる事実として最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 観光客数は大幅に増加したものの、観光客1人あたりの消費額が急減したため、観光収入の総額は1978年当時の水準を維持するにとどまった。 | 2. 観光客数は1978年の約140万人から2018年には約1000万人に達しており、観光客数の増加に連動して観光収入も大きく拡大した。 | 3. 1978年と比較して、観光客数の増加率よりも観光収入の増加率が極端に低くなっており、観光産業の経済への影響力は年々低下している。 | 4. 観光客数はこの期間に8倍以上の増加率を記録しており、それまでの主要産業であった農業の生産額を統計開始直後に上回った。 |
|---|--|---|---|
- 問7 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。 | 2. 住居の北側や西側に「防風林(屋敷林)」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。 | 3. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅(かや)で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。 | 4. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。 |
|---|--|---|--|
- 問8 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には(①)が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと(②)が流れている。これらはどちらも(③)であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. ①親潮(千島海流) ②対馬海流 ③寒流 | 2. ①黒潮(日本海流) ②リマン海流 ③暖流 | 3. ①親潮(千島海流) ②リマン海流 ③寒流 | 4. ①黒潮(日本海流) ②対馬海流 ③暖流 |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
- 問9 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でのり養殖が産業の中心となっている。 | 2. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。 | 3. シラス台地が広がる地形を活かし、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。 | 4. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー(食用鶏)の産出額が全国トップクラスである。 |
|---|---|--|--|
- 問10 鹿児島県の農業産出額は約4435億円と非常に高く、そのうちの約2837億円が畜産によって生み出されています。このように畜産の割合が極めて高い背景にある、この地域の自然環境の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 季節風の影響を強く受けるため、寒冷な気候に強い作物の栽培が優先されたため。 | 2. 平野が少なく山がちであるため、急斜面を利用した果樹栽培が中心となったため | 3. 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 | 4. 年間を通して温暖で降水量が多く、二期作などの米づくりに適していたため。 |
|--|---|--|--|
- 問11 福岡県北九州市周辺の地域では、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史背景を活かしつつ、現在は環境負荷の低減を目指したまちづくりが行われています。このように、廃棄物をゼロにすることを目指してリサイクル工場などが集まった地域のことを何と呼びますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|------------|---------|
| 1. ハブ空港 | 2. エコタウン | 3. スマートシティ | 4. 工業団地 |
|---------|----------|------------|---------|
- 問12 鹿児島県の桜島周辺における降灰被害について、冬の2月には降灰が主に火口の南東方向(海側)へ広がるのに対し、夏の8月には火口の北西方向(鹿児島市街地側)へと広がることが統計的に示されています。このように、時期によって降灰の範囲が変化する要因として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 周辺を流れる日本海流(黒潮)が、季節によって流路を大きく変えるため | 2. 夏は気温が高いため、噴煙が上昇気流に乗って拡散されなくなるため | 3. 日本付近の上空を流れる偏西風が、季節によって完全に消滅するため | 4. 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|